

節電キャンペーンについて

1 意 義

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、全国的に夏期の電力不足が深刻化する中、市役所内の節電の取組を加速化するとともに、市民に対しても、より一層の節電の取組を呼びかける。

2 市民への呼びかけ趣旨

全国的に電力需要が高まる夏場に向けて、電力供給が落ち込む東日本エリアの人たちと心を一つにして、被災地を応援する思いをこめて、日本の復興の一助となるように、夏の節電キャンペーンを行う。

3 取組名

サマー・エコライフ・マイナス15

4 スローガン

地球にやさしく家計にやさしい節電を！

5 目 標

前年同期比15%の削減

6 期 間

平成23年7月1日（金）～9月30日（金）の3箇月間

7 対 象

宇部市全域

8 節電の取組内容

(1) 市役所の取組

「宇部市地球温暖化対策実行計画（通称：えーこっちゃん）」に基づき、平成27年度までに平成21年度比で電気使用量を10%以上削減する数値目標を掲げ、節電に努めているが、全庁的な節電運動など、取組を強化し、期間中の電気使用量の前年同期比15%の削減を目指す。

① 3つの節電運動

ア) まめばち運動

パソコン、コピー機等のOA機器、不要場所の電灯はこまめに電源OFFする。

イ) 遅め運転・早め停止運動

冷房温度の28℃設定を励行し、朝は遅めに運転し、夕方は早め（15分以上）に停止する。

ウ) サンサンライト運動

事務室の窓際等では、ブラインドを上げたり窓を開けたりして、自然の太陽の光を十分活用する。

② オール市役所節電コンテスト

市の庁舎等建物単位（電気メーターごと）で、同じ建物に勤務する職員等を一つのチームとして、期間中の電気使用量を前年同期比15%削減する目標を立て、目標達成を競うコンテストを実施する。

節電状況はチームで情報を共有し、連帯感と協力し合う気風を高めながら取り組む。中間結果、最終結果については、市民に公表する。

③ 各職場での取組の強化

上記①以外でも各職場の創意工夫により節電の取組を行う。

また、各職場の節電の取組を職場内に掲示（呼びかけポスターなど）し、全職員に徹底するとともに、来庁者への理解を求める。

さらに、エコ推進指導員を置き、職場内で節電の取組ができているか点検する。

(2) 市民の取組 ⇒ 国の節電対策メニューとほぼ一緒

- ① 室温28℃を心がけましょう。
- ② 「緑のカーテン」や「すだれ」、「よしず」などで、窓からの日差しを和らげましょう。
- ③ 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。
- ④ 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まないようにしましょう。
- ⑤ 日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。
- ⑥ テレビは省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。
- ⑦ 温水洗浄便座や暖房便座は、保温・温水のオフ機能やタイマー節電機能があればこれを利用しましょう。機能がなければ、コンセントからプラグを抜いておきましょう。
- ⑧ ジャー炊飯器は、早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。
- ⑨ 待機電力を減らすため、電化製品は主電源を切りましょう。長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜いておきましょう。
- ⑩ 外出する時は、④⑦⑩の取り組みを心がけましょう。
- ⑪ 電気製品を買い替えるときは、省エネ家電を購入しましょう。
- ⑫ 白熱電球を電球型蛍光灯やLED電球に交換しましょう。

9 実施方法

(1) 街頭キャンペーンと地球温暖化防止・省エネ相談の窓口設置

キックオフイベント

節電の呼びかけ及び地球温暖化防止・省エネ相談の窓口を設置する。

日時 7月3日（日）～5日（火）の3日間

時間 9時30分～19時

場所 ゆめタウン宇部 1階 正面ロビー（ただし、3日は2階ロビー）

- (2) 「サマー・エコライフ・マイナス15宣言」の募集
市内の一般家庭で、前年同期比15%削減を目指す「サマー・エコライフ・マイナス15宣言」を募集する。
- (3) LED照明の普及促進
キャンペーン期間内（7月1日～9月30日）に5,000円以上のLED照明を設置又は購入された方にエコ定期券を進呈する。（希望の日から1箇月間有効の市営バス定期券）
- (4) 啓発用シールの作成
エコフェアの開催告知と家庭でできる節電の取組等を掲載した啓発用シールを作成し、街頭キャンペーン、夏の各種イベント等で配布する。
作成数 5,000枚（費用はエコフェア開催経費から支出）
期間 7月3日～
- (5) 市ホームページ・宇部地域SNSによる取組紹介・呼びかけ
市ホームページや宇部地域SNSで節電の取組事例等を広く紹介するとともに、節電を呼びかける。
市ホームページ該当ページ
<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/kankyohozen/shouene/setsuden.html>
- (6) 緑のカーテンコンテストの実施（6月1日市広報掲載済み）
室温の低下など省エネ効果が期待できるとともに、省エネ意識の高揚を図るため、「緑のカーテン」の取組の輪が広がるよう、家庭、事業所、及び学校部門で、「緑のカーテンコンテスト」を実施する。
募集期間 7月1日～9月30日
- (7) ライトダウンキャンペーン
6月21日～8月31日の間、夜間の屋外照明施設（ライトアップ施設等）や家庭での不要な電気の消灯の呼びかけを実施する。【(2)～⑤の重点化】
7月7日（七夕：クールアース・デー）
- (8) 市行事における呼びかけ
期間中の各種市主催行事において、主催者（主管課）が節電の呼びかけを行う。

10 広 報

- (1) 市の媒体
① 市長定例記者会見



- ② 宇部市HP
- ③ 宇部地域SNS専用コミュニティ

(2) 共催団体の媒体

- ① UNCCAの契約するFMきららの番組内
- ② UNCCAが契約する宇部日報の広告等

(3) その他

- ① メディアパブリシティ
- ② 賛同者による呼びかけ

1.1 連携体制

宇部商工会議所、くすのき商工会及び宇部市地球温暖化対策ネットワークと協力して実施する。
また、県のCO₂削減県民運動と連携を図りながら実施する。

1.2 キャンペーン後の展開

当該キャンペーンを契機に、市民の省エネルギー行動を一層促進する。
また、電力供給の状況によっては、冬季の節電キャンペーンへの展開を図る。

1.3 取組の実施により見込まれる効果

- 市の事務事業に伴う電気使用量の前年同期比 15%の削減
- LED照明の普及促進（購買・販売加速）

1.4 担当部署

〒755-8601

山口県宇部市常盤町一丁目7番1号

宇部市 市民環境部環境政策課

電話0836-34-8245 FAX0836-22-6019

E-mail : info-envi@city.ube.yamaguchi.jp